子どもスポーツ診療室

(12)

いた。 状や治療法などについて聞 准教授に、肩関節脱臼の症 機能再建外科学の福田昇司 脱臼癖が付き、手術が必要 ちんと治療しないままでは うこともあるが、 育段階にある子どもは脱臼 中高生に多いけがの一つに い。徳島大大学院脊椎関節 になるケースも少なくな した肩を自分で直せてしま ール、野球などに取り組むラグビーやバスケットボ 「肩関節脱臼」がある。発 最初にき る。スポー ーツをしている時

たことを親にも言わず、 うちに自己整復し、脱臼し 肩を引っ張るなどしている うになる。子どもは自分で て元通り自由に動かせるよ 復)と、すっと痛みが消え 肩が再び入ってしまう(整 医

定性をある程度犠牲にする の周囲にある 「関節唇」 と 性を高めているのは、関節 股関節は、深く安定した骨をしっかり支えられるよう 節と股関節は、その構造が 部分でつながり、その安定 で、肩関節は骨同士が浅い 大きく異なる。両足が体重 いう軟骨や靱帯といった軟 胴体と四肢をつなぐ肩関 安 は「ボ 「骨頭」を指し、ソケット 葉でよく表現され、ボール(球と受け皿)」という言 う一因となる。脱臼に伴うが、症状を悪化させてしま さいものではない。 **肩関節の損傷は、決して小** 少なくない 療機関を受診しないことも 実は、こうしたケース

の造りになっている。

福田昇司准教授 どの痛みが走る。しかし、 骨は一瞬で抜けてしまう。 た側の腕を反対の手で支え すると、軽い衝撃でも肩の で打ちどころが悪かったり 野球のダイビングキャッチ 後ろに持っていかれたり、 た腕が相手選手に当たって することはもちろん、 つかるなど強い衝撃で脱臼 に選手同士が「どん」とぶ 肩を脱臼した場合、抜け

は肩甲骨の「関節窩」のこ ルアンドソケット 肩関節



はしっかりとスポーツを休 るとされており、その期間 ある。関節の組織が元通りとも3週間は続ける必要が る肩関節の固定を、少なく

になるまで3カ月間はかか

脱臼した10代男性の右肩のエックス線写真圏と

むことが重要だ。

全復帰するためには、リハ本。しかし、スポーツに完好のなぎ合わせることが基 対象となる。手術は、関節性脱臼」になってしまう 腐から剝がれた関節唇を再 ず、脱臼を繰り返す「反復初期に適切な治療を行わ ヒリを含めて半年間は必要

回にしっかりと治療 になるという 福田准教授は「脱臼は初

が非常に重要。長期的にス発させないようにすること も、肩に異常を感じたとき ポーツに取り組むために しい」と呼び掛けている。 には整形外科を受診してほ (萬木竜一郎)

定が必要 週 間は 古

(ヒル・サックス病変) す

関節症による症状が現れた みえても、壮年期に変形性

りすることもあります」と

ト病変)、骨頭が削れたり その衝撃で関節窩から関節 とを言う。脱臼した際には、

> ようになります。 が整復されても痛みが残る

大人にな

って脱臼癖が治ったように

る病変が現れる。

注意を促す。

法が中心となる。装具によ

脱臼の初期治療は保存療

再脱臼しやすく、 することがある。初めて脱肩が抜けてしまうほど悪化 療を行わず、2回、3回と初回脱臼の際に適切な治 日した時の年齢が若いほど 活のちょっとした動作でも って脱臼癖が付き、日常生 らの病変が次第に大きくな 繰り返してしまうと、これ ツに取り組む子どもは初 特にスポ

り返すと軟骨が傷み、 というデー 福田准教授は「脱臼を繰 タもある。

と、8%以上が再脱臼する 期にしっかり治療しない

肩の骨が抜けることがある

野球のダイビングキャッチなど、軽い衝撃でも

肩関節脱臼

このため、 肩関

口の約半数を占めるとされ

全ての外傷性脱 肩関節は脱臼 ことで、

大きな可動域を確

部組織。言い換えれば、



イラスト・伊藤 司郎